

アイギスからのご案内

セミナー内容

① 園児を安全に監視する方法を学ぶ (10:00~11:30)

園児を安全に見守るためには、「安全距離」と「安全フォーメーション」について学ぶことが必要です。保育の内容や状況、園児の配置によって、職員もフォーメーションを変えなければなりません。保育内容によって、リスクも変わります。リスクを事故に進化させないためにも、職員が取るべき体制を学び、保育現場で実行することが必要不可欠です。そのための方法を学んでいただきます。

② 効果的な事故分析の方法を学ぶ (13:00~14:30)

現在、内閣府が採用している保育現場の事故分析方法は、SHELL分析です。この分析方法は、保育事故専門の分析方法ではないため、複雑かつ、有効性も確認できていません。そこでアイギスでは、保育現場で起きた事故を10年間そばで見て、対応をアドバイスしてきた経験から保育事故専門の分析方法を今回は、発表しようと考えました。ご参加いただいたみなさまにそれを学び、現場で生かしていただければと思います。

③ クレームを減らすコミュニケーション術 (14:45~16:15)

これまでの勉強会では、事故前の対策（危機管理）について勉強してまいりました。今回からは、事故後の対策（危機対応）についての勉強をはじめてまいります。第1弾といたしまして、職員さんたちに最も身近なクレームを取り上げました。クレームが生じてからの対応ではなく、クレームが生じないような日常のコミュニケーション術をご紹介します。ぜひ、保育現場で生かしてください。

園で働く職員に安全・安心な
職場環境を届けるセミナー

第**3**回
子どもと職員と園を守る勉強会

研修要項

- 日 程:平成30年10月15日(月) 10:00~16:15
 - 会 場:東京都中央区近郊会議室(9月1日(土)以降決定いたします)
 - 参加費:81,000円(税込)
 - 講 師:脇 貴志(株式会社アイギス代表取締役)
 - 定 員:10名
- 締切:平成30年10月12日(金)

<最少遂行人数について>

アイギスの研修はご参加者が3名以下の場合は研修を中止することがございます。中止の際は、研修の2週間前までにご連絡差し上げます。あらかじめご了承ください。

<キャンセル料金について>

申込み完了後(弊社がFAXを受付後)のキャンセルにつきましては、所定のキャンセル料をいただきます。あらかじめご了承ください。お申込みから一カ月前まで、受講料の50%。以降、受講料の100%。

お申込みはこちらから

F A X 0 3 - 5 6 1 4 - 0 7 4 0

- | | |
|--------|---|
| ■ 貴法人名 | ■ お電話番号 |
| ■ 貴園名 | ■ ご担当者名(ふりがな) |
| ■ ご住所 | ■ 参加人数をご記入ください。
<input type="checkbox"/> 第3回「子どもと職員と園を守る勉強会」 () 名 |